

✦ ガバナーメッセージ

これからのロータリー — クラブを超えた親睦と奉仕 —

国際ロータリー第2750地区 2008-09年度ガバナー 新藤 信之



地区大会も終わり、最後の仕上げの時期となりました。CLPに基づき、次年度のクラブ活動の継承を確実なものとするよう新旧理事会で充分協議して下さい。

私はガバナー訪問で、CLPが1997年前後からのロータリーの会員の減少とクラブ単位会員数の減少というクラブの小粒化の流れの中で、クラブを再生、活性化する方法として発案された経緯をお話しました。そして個々のクラブが自らのクラブに相応しいものとして、会員数の多少に関わりなく、CLPの基本理念を理解した上で、採用することが大切であることを強調してきました。更に、個々のクラブ毎に、どうすればよいかを具体的に話し合ってきました。

「これからのロータリーは40名以下のクラブが主流になるでしょう。CLPの委員会構成の基本は、クラブ管理運営委員会と奉仕プログラム委員会の2つの委員会、5つの常設委員会すらクラブの自主的な判断で決められる例示に過ぎません。単にクラブ細則と委員会構成を変更することがCLPではなく、毎年、クラブの管理運営と奉仕プログラムを見直し、所謂9つの実施段階に添って、計画、実施することが大切になります」とまで、言及しました。

40名以下のクラブがこれからの主流になるということには、それなりに数値的な根拠があります。ロータリーの友のウェブサイト、ロータリー・ジャパンに掲載されている「会員数別のクラブ比率」に依ると、既に2007年3月現在で40名以下のクラブが過半数を超えています。一クラブの平均会員数は43名です。更に地区毎の会員数別のクラブ比率の10年毎の推移を見ますと、40名以下のクラブがどの地区も急増しています。

第2750地区(1998年12月と2008年12月の比較)

	クラブ数	会員数	20人以下	21~40人	41~60人	61人以上
1998年	84	5,938	1	16	21	46
2008年	90	4,841	6	34	26	24

この様な会員の減少とクラブの小粒化傾向の中で、これからのロータリーは、どうすればよいのでしょうか。

この意味で、2つのことを指摘したいと思います。一つは親睦

と奉仕のあり方が変わる或いは変えることです。二つ目は、これらのあり方が変わることによって、クラブそのもののあり方も変わる或いは変えるということです。

この2つに共通したキーワードは「クラブを超える」という言葉です。会員数の少ないクラブは、奉仕の機会としての知り合いや事業資金、動員力に限界が生じること、会員数の多いクラブは、泰然自若としてクラブや地域社会だけの自己完結的な活動をしていたら、今日の閉塞状態から抜け出せず、ロータリーの全体の流れから取り残されてしまうこと、が予測されます。これからはいくつかのクラブが協力し合い、時にはロータリー以外の団体と協同する、クラブを超えた、地域を越えた親睦活動と奉仕活動が求められます。07年手続要覧第4章ロータリーのプログラム一般の中で「世界ネットワーク活動グループ」として、ロータリー親睦活動とロータリアン行動グループが新たに加わったことは、その象徴です。

RIは国際組織ですから、相当以前からクラブやロータリアンの国際的ネットワークを考え、実際に活動してきました。これからは意識的に、クラブやロータリアンの方から趣味や同じ職業を通じたネットワーク作りが必要になります。

今年度地区に「親睦活動委員会」と「パイロットプログラム委員会」を新設致しました。クラブを超え、地域、国を越えたときに、正に「ロータリーとは、地域社会で活躍するボランティアの世界的ネットワーク」なのです。

有名な「ロータリー・モザイク」の著者ハロルドT.トーマス元RI会長の時代は、ロータリーの進化発展する時代でした。今、ロータリークラブは33,000を越え、熟成した地域では会員減少とクラブの小粒化が始まっております。1970年代のクラブのあり様と今のクラブのあり様は自ずと変わらなければなりません。これからは「意識的に」モザイクの色を決めなければなりません。その前提は、「良質なクラブ自治権」を基礎とした、自立した個性あふれるロータリアンによって構成されたロータリークラブです。これからのロータリーの世界で、「マイCLP」を相応しいかたちで有効に採り入れたクラブだけが、お互いに協力、協同することによって、地元地域社会で個性的な色の光を放つことができるものと確信します。

INDEX

✦ ガバナーメッセージ

✦ サンディエゴのハードウイーク

2008-09年度 ガバナー・エレクト 久邇 邦昭

✦ 文庫通信／寄付報告／物故

✦ 出席報告／編集後記

<http://www.ri2750.org/>

✦ ガバナーからのお知らせ

会長・幹事そして会員の皆様のお陰で、10年に一度のGuamでの地区大会を無事終えることができました。

登録者総数は1,340名で、その内訳はロータリアン1,077名、ご家族263名でした。内、当地区以外からの登録者は71名です。ありがとうございました。

いよいよ、久邇年度の行事が開始されました。2月25日には地区チーム研修、3月10日、11日は会長エレクト研修セミナー、4月21日は地区協議会です。

各クラブ、CLPに基づいた計画立案を中心に、次年度への引継ぎをお願い致します。

The Future Rotary - Friendship and Service Above Club

The District Conference is finished and the last time to get through rotary activities comes. Based on the CLP, the new and current board meeting sufficiently discusses in order to ensure the succession of the club activities for incoming year.

When I had the Governor's Official Visiting, I talked to the club about the proposed history of it as one of the ways that made the club regenerated and refreshed on a tide of the small sized club that was based on decreasing the number of memberships in rotary and the in one club. I emphasized the importance of applying the CLP that each club understands the philosophy of CLP instead of the smaller or larger number of the members as it is suitable for the club. And moreover I have specifically talked about what each club has to do.

The future rotary club will mainly make less than 40 members. The basic organization of the CLP committee is composed of two committees as the Club Management Operation Committee and the Service Program Committee and is only an example that is decided by the self-disciplined judgment of the club even for five permanent committees. The CLP does not only change the Club Bylaws and the committee organization and review the club management operation and the service program and after all it is valuable to plan and execute according to the nine (9) practical steps. There are some reasons in figure that the mainframe of the club members is less than forty (40). From the club ratio per the members on the web side of ROTARY-NO-TOMO (Friends in Rotary)' and the Rotary Japan, the number of 40 or less members club has already surpassed over the majority as of March, 2007. The number of the members per club is 43. In addition from a change of the club ratio per members for each district in every decade tells the number of 40 or less members have been rapidly increased.

The following is comparison with the number in December, 1998 and December, 2008 on the District 2750

RI Year	No of Clubs	No of Members	20 or less	21 - 40	41 - 60	61 or over
1998	84	5,938	1	16	21	46
2008	90	4,841	6	34	26	24

How the rotary has to do from now on the tendency of the declined number of members and small sized club? I propose two things for his tendency.

One is the way of fellowship and service change or to be changed and second is what the club should change or be changed by the way of rotary activities mentioned above.

The common key word for these two things is 'Above the Club'. What the small sized club gives rise to the limitation of recognition of the service change and the activity fund and the power of activity, and the large sized club makes the self concluded activities into the club and the community and can not get rid of current closed status and is left from the total flow of the Rotary is predicted. From now on, some clubs work in cooperation with each other and sometimes with another group except the Rotary and are required the fellowship and service activities above the club and the area. The Rotary Fellowships and the Rotarian Action Group as 'Global Networking Group' described on Chapter 4 'General Programs of Rotary' of Manual of Procedure, 2007 are emblematically added on it.

RI is an international organization and has thought of club's and rotarian's global network and actually operated for a long time. From now on, the clubs and rotarinas intentionally need to make the network through the hobby and same vocation.

This year 'Rotary Fellowship Committee' and 'Pilot Program Committee' are newly organized. When our services cover over the club, the area and the country, the rotary is exactly an 'global volunteer network active in community'.

In the age of past RI President, Harold T. Thomas who was authored a famous book, 'Rotary MOZAIIC', the Rotary has evolved and progressed. to reduce the memberships and small sized. Now the number of the Rotary Clubs in the world is over 33,000 and a decrease in the membership and a small sized club has started in the aged area. There are some changes needed between what the Rotary should be in the 1970's and the current club situation. From now on, we need to intentionally decide a color of mosaic. This premise is that the rotary club should be organized by self-sufficient and individual Rotarians based on good quality club autonomy. I am sure that the Rotary Club that effectively apply the 'My own CLP' in the coming Rotary world will emit a original colored light to the local community by the mutual cooperation and cooperative relationship.

サンディエゴのハードウイーク

2008-09年度 ガバナー・エレクト 久邇 邦昭



【写真提供：ロータリーの友】

全世界のガバナーエレクトを集めてサンディエゴで行われた国際協議会に出席して来ました。1週間朝から晩迄本会議11回セッション14回で本当に息づく暇なしの感じ、同僚のエレクトの1人が、これは大学受験以来始めてだと云っていました。同じ取り廻り料理が3食続くのですが、変わったところではダンス付夕食会1度、お別れ夕食会の他に全部の国ではないが余興をやる晩がありました。割当3分間で、我々日本は阿波踊りをやりました。折角の1度しかない午後の休みにこの公式練習時間が割当てられショックでした。テレビ等で見ると易しそうですが、どうしてどうして手振り足振りがきれいに揃うというのは至難の技、大拍手はあったものの、果してどうだったか、一寸心配です。

さて、本会議ではまずジョン・ケニー会長エレクトが次年度標語として「The future of Rotary is in your hands」を發表しました。これは、ロータリーの将来はあなた的手中にある、もう大丈夫だというニュアンスがあるようにもとれますが、私は、あなたの手を使って自分でロータリーの将来を築いてゆかねばならぬという意味で、容易ならぬ現実を見つめての標語であると受け取り感銘を受けました。

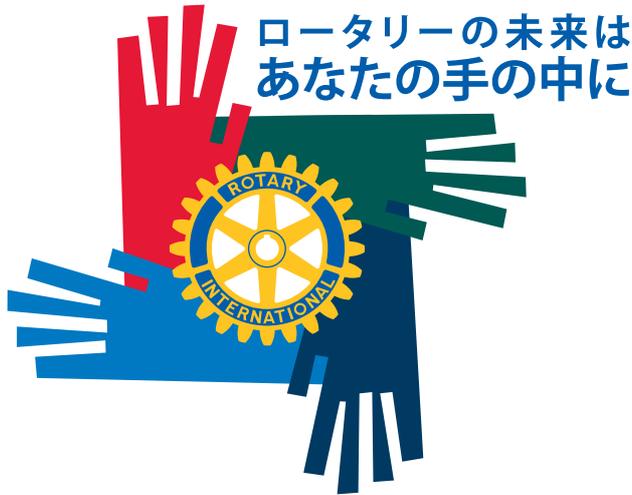
それからビル・ゲイツがポリオ撲滅の為2億5千5百万ドルの追加支出をするとの大演説をやり、ロータリーも1億ドルの追加支出をきめたと發表されました。これで終りだと云われて抛出した経緯もあり、この大金の使用計画の明細も示されず、ポリオ以外にも水その他の活動目標があるのに納得出来ない、少人数のクラブも多い日本として追加支出は痛いというエレクト仲間が何人も居て、議長(私はガバナー会議長)RI理事会に照会してくれとの要望多く、苦慮したところでした。理事会照会を取敢えず控え、義務と捉えず、出来る限り努力する事で納得を得ました。

重点事項は「水、飢餓と保健、識字率」を踏襲しています。セッションでの討論では、水については、水不足や汚水の所により水や浄水設備を持って行くだけでは不十分で、植林をして森林を復元しなければならぬこれが飢餓の解消にもつながるとの意見を述べた所皆賛成で、植林活動を行っている地区も2~3あるとの事でした。識字率については世界に目を向ければ改善を要する地域も少なからず、福祉の向上のためロータリーも大いに奉仕しなければならないが、日本では、教育の面に反映させる上で、新世代プログラムも対象をもう少し若年層に広げるべきではないかとの意見も有力でした。

以上、大分端折りしましたが御報告とします。



2009-10年度のテーマとマーク



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

文庫通信 (257号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

—— 地区大会記念講演から ——

◎「異文化の架け橋」

柴田恭子 2008 2p (D.2610)

◎「浪漫なしで生きていけない」

三輪休雪 2008 10p (D.2710)

◎「地方発!! 人づくり国づくり」

川勝平太 2008 12p (D.2710)

◎「いくつになってもその気になれば一歩踏み出せる」

名取美和 2008 4p (D.2820)

◎「愛と勇気と感動と」

加藤タキ 2008 12p (D.2550)

◎「日本の底力」

麻生太郎 2008 12p (D.2650)

◎「人生って支えあえっこ」

牟田悌三 2008 10p (D.2700)

◎「ネット社会と子供の危機～心の発達は大人大人しい～」

柳田邦男 2008 19p (D.2700)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

お知らせ

ホームページが新しくなりました。体裁を一新し、利用しやすくなりました。

デジタル化した文献[*]はダウンロードできます。ご利用下さい。

ロータリー



文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



宮崎 祐爾 (東京たまがわRC)

2009年1月10日逝去 (享年65歳)

1990年6月4日入会

1993-94年度 第4代 クラブ幹事

1996-97年度 第7代 クラブ会長

2003-04年度 第14代 クラブ幹事

ポール・ハリス・フェロー (5回)、ベネファクター

米山功労者 (2回)・米山功労法人



荒木 護夫 (東京狛江RC)

2009年1月27日逝去 (享年89歳)

1985年11月18日入会

1999-2000年度 第29代クラブ会長

ポールハリスフェロー、ベネファクター

米山功労者 (3回)

バギオ基金Sフェロー



藤森 恭一郎 (東京八王子RC)

2009年2月1日逝去 (享年79歳)

1999年1月 東京八王子RC 入会

2004-05年度 国際奉仕副委員長

米山功労者

米山功労者ご紹介

ご協力を感謝致します

米山功労者	富倉 進君	東京田園調布	09.1.16	4
	蛭原 宗久君	東京中央	09.1.21	6
	高木 茂君	東京銀座	09.1.22	1
	菱山 武雄君	東京銀座	09.1.22	1
	沖野 勝君	東京港南	09.1.23	3
	田中 善雄君	東京府中	09.1.29	1
	横ヶ埜 俊彦君	東京府中	09.1.29	2
	松村 一夫君	東京府中	09.1.29	5

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝致します

◎	佐久間 崇源君	東京目黒	09.1.16
	永井 廣司君	東京目黒	09.1.16
◎	宮野 カ一君	東京自由が丘	09.1.16
◎	塩沢 光男君	東京小金井	09.1.16
◎	新井 富一君	東京調布むらさき	09.1.16
	加藤 隆明君	東京調布むらさき	09.1.16
◎	林 貞夫君	東京調布むらさき	09.1.16
◎	山岡 興平君	東京調布むらさき	09.1.16
◎	木村 久彌君	東京日本橋東	09.1.23
◎	石黒 良雄君	東京成城新	09.1.23
	横田 定利君	東京稲城	09.1.23
◎	堀野 雅章君	東京杉並	09.1.30
	赤木 建治君	東京武蔵国分寺	09.1.30
	井口 敏之君	東京武蔵国分寺	09.1.30
◎	石井 吉則君	東京稲城	09.1.30

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝致します

	丸山 富美江君	東京中央新	09.1.9
	海老沢 一行君	東京成城新	09.1.23
	野嶋 豊君	東京中央	09.1.30
	加藤 書久君	東京西南	09.1.30
	伊東 亜細亜君	東京武蔵国分寺	09.1.30

★国際ロータリー第2750地区出席報告（1月分）★ District 2750 Membership Attendance Report January 2009

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数		
				08年7月1日	09年1月末	増減					08年7月1日	09年1月末	増減
千代田グループ	東京南	4	78.36	179	178	-1	多摩南グループ	東京八王子	4	92.03	60	64	4
	東京芝	4	90.27	95	93	-2		東京町田	4	75.25	61	59	-2
	東京新橋	4	76.37	54	56	2		東京日野	4	82.29	43	41	-2
	東京赤坂	4	73.60	54	53	-1		東京八王子西	4	84.94	68	68	0
	東京みなと	3	80.01	52	53	1		東京町田・中	4	77.26	40	40	0
	東京レインボー	2	82.06	48	43	-5		東京八王子東	4	87.09	31	31	0
銀座・日本橋グループ	東京麻布	4	77.50	22	23	1	東京八王子南	4	91.04	56	57	1	
	東京銀座	3	78.98	162	168	6	東京町田サルビア	4	94.09	27	26	-1	
	東京日本橋	4	81.32	174	177	3	東京飛火野	4	73.62	32	32	0	
	東京築地	2	85.35	70	69	-1	東京町田東	4	70.00	31	31	0	
	東京日本橋東	2	83.64	54	55	1	東京八王子北	3	81.72	33	33	0	
	東京中央	4	83.42	230	242	12	東京立川	4	93.78	88	91	3	
	東京日本橋西	4	81.40	49	49	0	東京小金井	4	100.00	40	35	-5	
	東京銀座新	4	80.33	76	74	-2	東京国分寺	3	95.16	54	52	-2	
	東京シティ日本橋	4	77.60	50	51	1	東京三鷹	4	89.20	48	45	-3	
	東京中央新	3	75.70	38	38	0	東京昭島	4	77.20	50	49	-1	
京浜グループ	東京羽田	3	86.11	45	50	5	東京国立	4	98.00	56	56	0	
	東京大森	4	96.89	52	53	1	東京立川こぶし	4	90.23	85	85	0	
	東京品川中央	4	85.20	44	56	12	東京井の頭	2	92.60	25	27	2	
	東京田園調布	4	86.24	46	50	4	東京昭島中央	3	80.00	31	32	1	
	東京蒲田	2	93.69	60	60	0	東京武蔵国分寺	2	89.42	57	54	-3	
	(東京荏原かめりあ)	-	—	(12)	(0)	(-12)	東京小金井さくら	4	75.79	22	23	1	
	東京田園調布緑	3	81.53	23	25	2	東京国立白うめ	3	83.33	25	23	-2	
	東京品川	4	84.24	67	66	-1	東京府中	4	75.86	65	66	1	
	東京大井	3	72.22	17	18	1	東京調布	3	85.29	69	68	-1	
	東京港南	3	70.18	19	19	0	東京多摩	4	75.86	25	29	4	
	東京大崎	4	83.54	33	38	5	東京狛江	4	84.40	34	32	-2	
	東京京浜	3	82.75	23	23	0	東京稲城	3	78.42	35	35	0	
	東京マリーン	4	71.05	18	19	1	東京武蔵府中	4	79.08	52	55	3	
	東京白金	2	82.80	33	32	-1	東京たまがわ	3	81.80	26	26	0	
東京高輪	2	87.00	28	29	1	東京多摩グリーン	4	74.15	32	35	3		
山の手東グループ	東京西	4	85.70	157	151	-6	東京調布むらさき	4	83.63	79	84	5	
	東京城西	3	77.70	75	82	7	Guam		—	63	68	5	
	東京西南	4	80.29	59	58	-1	Saipan		—	45	46	1	
	東京原宿	4	79.89	31	31	0	Tumon Bay	5	36.25	96	94	-2	
	東京杉並	4	82.27	44	43	-1	Northern Guam		—	34	36	2	
	東京神宮	4	74.99	40	39	-1	Pohnpei		—	20	21	1	
	東京恵比寿	4	73.50	100	101	1	Palau		—	16	15	-1	
	東京広尾	4	74.14	32	29	-3	Guam-Sunrise	4	52.21	34	33	-1	
	東京渋谷	2	82.43	45	40	-5	Truk Lagoon		—	7	10	3	
	東京六本木	3	74.00	52	54	2	国内82クラブ計			4,478	4,524	46	
山の手西グループ	東京世田谷	3	86.51	49	65	16	地区91クラブ計			4,793	4,847	54	
	東京目黒	4	79.88	48	47	-1	千代田グループ	79.74	多摩南グループ	82.67			
	東京成城	4	84.15	25	25	0	銀座・日本橋グループ	80.86	多摩中グループ	88.73			
	東京世田谷南	4	81.00	92	92	0	京浜グループ	83.10	多摩東グループ	79.83			
	東京城南	2	59.00	28	28	0	山の手東グループ	78.49	P B グループ	—			
	東京山の手	3	78.57	68	70	2	山の手西グループ	77.36	平均出席率	81.71			
	東京成城新	4	77.46	43	42	-1				(PBGを除く)			
	東京青山	3	70.00	31	32	1							
	東京自由が丘	4	81.46	20	19	-1							
	東京世田谷中央	3	75.56	32	32	0							

編集後記

地区大会が2/18・19とグアムにて開催されました。10年毎にPBGにて開催されるこの大会は、実行委員会・国内実行委員会を中心に1年の時間をかけ企画運営されてまいりました。この大会記録の概要は、後日構成し月信HPにて公開する予定です。

また、各グループの上半期活動報告をガバナー補佐の皆様より投稿いただき、地区ホームページ2月号の活動通信にアップしておりますのでご覧ください。

3月を向かえるにあたり、次年度の会議もチーム研修セミナー・会長エレクト研修セミナー・地区協議会と次々と開催されます。そして、久遠次年度ガバナーもガバナーエレクト研修セミナーも終了し、準備が始まろうとしています。

この時期は今年度・次年度と行事が交錯し、皆様方には何かとお忙しいとは思いますが、当委員会は爾々と新藤年度の月信・ホームページの充実を図ってまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

2008-09年度 ガバナー月信・IT委員会 副委員長(IT担当) 河村 勝久(東京立川こぶしRC)

国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2008

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三
竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美 山見 真弘 木村 清信 高柳 数利

ガバナー月信・IT委員会副委員長(IT担当)：河村 勝久 **ホームページアドレス** <http://www.ri2750.org/>